

徳島型メンター制度の活用

鳴門市鳴門東小学校 「チーム鳴門東」教職員間で学び合い、支え合う環境づくり

【導入への背景】

- 20～30代の若手教員が8割以上で、人材育成が喫緊の課題であった。
- 意欲的な教員が多く、互いに学び合い高め合いたいという雰囲気があった。
- 若手教員の育成が学校力を高めるという思いが、管理職や研修主任にあった。



経験年数の少ない教員が多いことから管理職や研修主任が相談役となり、一緒に進めるスタンスを取った。

【メンター研修（わかめ）の計画】（一部抜粋）

日時	研修内容・担当の先生	場所
10月1日(金) 15:40～16:00	「お話の絵の指導」について(担当:A先生)	多目的室
11月22日(月) 15:40～16:00	「自分の考えや思いを伝え合える学級づくり・授業づくり」について(担当:教頭先生)	多目的室
12月7日(火) 15:40～16:00	「音読指導の基本」について(担当:B先生)	多目的室
1月14日(金) 15:40～16:00	「教室環境」について(担当:C先生)	多目的室
2月4日(金) 15:40～16:00	「生徒指導」について(担当:校長先生)	多目的室

- ・教職員の自主性を尊重
- ・無理のない計画
- ・研修の開始時刻の厳守
- ・時間は20分間
- ・若手教員のニーズに沿った内容などに配慮



「お話の絵の指導」
用具や材料の紹介

徳島型メンター制度の活用

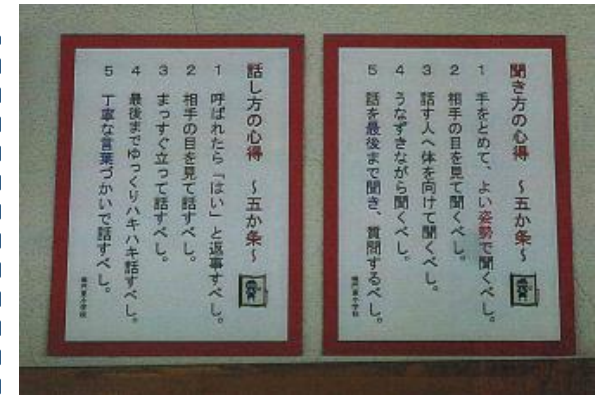
先生方からのご意見

【メンターから】

- これまでの授業実践を紹介したり、授業で心がけていたことを共有したりしたことで、自分自身、新しい考えをもてたり、指導法について改めて考えたりすることができた。

【メンティから】

- 子どもの実態から、「聞き方・話し方の心得～五か条～」を作成し、先生方の共通理解のもと、指導に生かすことができた。
- 「絵の指導」について、絵画指導の基本や心構えが学べた。



「聞き方・話し方の心得～五か条～」すべての教室に掲示し、全校で一斉に取り組んでいる。心得には、先生方の願いが込められている。

こんな効果が!

- 本当に学びたいことを「気軽に」「本音で」聞き合える。
- 教職員個々の得意技を他の先生方のために活かそうとする教職員が増えた。
- 職員室の風通しが良くなり、何事でも報告・連絡・相談ができるので、困りごとの共有や、それぞれの先生方の仕事量軽減、様々な問題を未然に予防できることにつながっている。
- 教職員間に学び合い、支え合う環境が構築され、校内研修でも活発な意見交換や授業実践力の高まりが感じられた。



職場の雰囲気良くなり、誰もが子どものために「何ができるか」「何をすべきか」を考えるようになった。「働きがいのある」「働きやすい」職場の土台づくりが、働き方改革につながっている。